

社会資本総合整備計画(第3回変更)

唐戸地区周辺における賑わいの創出

山口県 下関市

平成29年2月

社会資本総合整備計画

平成29年2月8日

計画の名称	唐戸地区周辺における賑わいの創出		
計画の期間	平成25年度～平成28年度（4年間）	交付対象	下関市
計画の目標	<p>唐戸周辺地区は、旧赤間関市の中心市街地として繁栄した歴史的経緯を有し、市役所庁舎や唐戸市場、カモンワークに隣接する商業・業務の中核として、また路線バスや高速バス、タクシーが発着・往來する交通ターミナルとしての位置づけを有している。しかしながら、近年における高齢化の進展や経済情勢の低迷に伴い当該地区における中心市街地・商店街の空洞化の様相も顕著であり、空きビル・空きテナントの増加や建築物の老朽化に伴う防災性の低下が懸念されている。また、隣接する商業施設には観光客等が多く訪れている状況にあるが、本地区の商店街に向かう観光客等は少なく、回遊させるためのしかけづくりが喫緊の課題となっている。</p> <p>このことから、民間活力を誘導した再開発事業等による都市機能の更新や魅力ある都市空間としての再整備を行うため、地区権利者の合意形成を図り、周辺商業施設より既存商店街へ観光客等を誘引し、本地区のにぎわいの創出を図る。</p>		
計画の成果目標（定量的指標）	<p>・周辺商業施設から既存商店街への回遊率（歩行者等通行量（休日））の増加。</p>		

定量的指標の定義及び算定式	<p>周辺商業施設から既存商店街への回遊率（歩行者等通行量（休日））を増加させる。</p>			<p>定量的指標の現況値及び目標値</p>			備考		
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値	最終目標値 (H28末)				(当初現況値の説明)		
	17%	-	22%				下関市中心市街地活性化基本計画における目標値と現況値（平均値）による割合		
全体事業費	合計 (A+B+C)	8.2 百万円	A	8.2 百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
1-A-1	住環境整備事業	一般	下関市	直接	下関市	唐戸地区（仮称）市街地総合再生基本計画等作成事業	市街地総合再生基本計画作成(0.92ha)、再開発基本計画(0.45ha)	下関市						8	
合計												8			

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

(参考図面)

